

☑ 感染拡大期に対応した医療提供体制の整備等

項 目	金 額
入院医療機関の体制整備への助成	549 億 1000 万円
専用医療施設の整備への助成（うち、令和 2 年度支出分）	37 億 5000 万円
軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保	68 億 6000 万円
医療機関の持続可能な経営に向けたオンライン研修の実施	435 万円

☑ 県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応

項 目	金 額
観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援	4 億 7000 万円
中小企業のオンラインでの販路開拓に向けた支援	2400 万円
ハローワーク浦和・就業支援サテライトにおける相談業務等のオンライン化	2100 万円
テレワーク等の推進に伴う庁内ネットワーク環境の強化	
・うち、令和 2 年度支出分	5400 万円
・うち、令和 3 年度支出分＜債務負担行為の設定＞	（限度額）4900 万円



渡辺 大の活動レポート

Activity Report

一議員として、令和会（自民党一期の会）や議員連盟への参加など、様々な視察や勉強会、その他の活動に積極的に参加しています。



■防犯のまちづくり議連啓発活動



■「子どもの立場から親権制度を考えよう」フォーラム参加

県政報告

Vol.6

埼玉県議会議員

西五区
（ふじみ野市・三芳町）

わた なべ だい
渡辺 大

手洗い・マスク
3密を避けて！
みんなで乗り越えましょう！



ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に！！

皆さま、こんにちは！ 渡辺 大です！ いつも心からの応援に感謝申し上げます！
感染防止対策と医療体制の充実は今なお最重要課題です。
県民の皆さまの安心、安全のために、全身全霊働いていきます！

埼玉県議会議員 渡辺 大

新型コロナに備えた補正予算（1313億円）を可決

補正後累計：2 兆 3083 億 9000 万円

令和 2 年度 9 月補正予算案の主な内容

☑ 高齢者（65 歳以上）等のインフルエンザワクチン接種費用の無償化

…21 億 4000 万円



PICK UP

- インフルエンザ流行期に備え抗原検査費用の増額・・・・・・・・・・ 37 億円
- 県が指定する「診療・検査医療機関」の体制確保支援・・・・・・・・ 3 億 3000 万円
- 重点医療機関に対する病床確保料の増額・・・・・・・・・・ 167 億 9000 万円
- 生活困窮者への生活福祉資金の特例貸付の補助金増額・・・・・・・・ 203 億 5000 万円

●GoTo トラベルを使い県内宿泊施設に宿泊した県民に 3,000 円分のクーポン券の配布。

●最高 5 万円相当の景品の当たる県内観光地スタンプラリー

●県内バス事業者に対し、バス運行へ補助



■発行
埼玉県議会自由民主党議員団

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

埼玉県議会議員

渡辺 大 県政事務所

〒356-0035 ふじみ野市丸山 2-18-102
TEL：049-265-6250 FAX：049-265-6251
E-mail：office.daiwatanabe@gmail.com



一般質問報告

皆様の声を県政に！

県議会 6 月定例会（6 月 22 日・於：本会議場）において一般質問に登壇し、以下の 6 項目について質問・提言をさせていただきました。本号ではそのうち 3 つの概要をお伝えします。

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 長期化に備えた保健所の体制整備
- (2) 地域医療機関への支援
- (3) 感染まん延期における災害時避難対策
- (4) 平常時の学習にも活用可能な複合的効果のあるリモート教育の拡充

2. 学校教育の充実について

- (1) 読解力の向上
- (2) 性教育
- (3) メンタルヘルス教育
- (4) 生徒にとって望ましい運動部活動の環境構築
- (5) 社会人経験のある教員の採用拡大

3. 女性活躍のトップランナーとしての埼玉県庁の機能、役割について

4. 流域下水道における災害耐性について

5. 新河岸川流域整備計画で定められた雨水流出抑制対策への支援について

6. 県道さいたまふじみ野所沢線の渋滞対策について



01 感染症まん延期における災害避難対策

Q. 渡辺大 からの質問

台風シーズンを迎えるにあたり、避難所内のソーシャルディスタンスとともに、避難所に集中させない分散避難の必要性も高い。

県ガイドラインでは、状況によって在宅避難も提示されているが、在宅避難者への支援が抜け落ちており、対応が必要である。県の考えは？



A. 県担当者の答弁

在宅避難者には、食料、飲料水などの物資が届きにくいという状況が指摘されており、様々な支援の情報も十分に行き届かず、本来であれば受けられるはずの支援が受けられなかった事例も報告されている。

市町村の意見を伺いながら、避難所運営のガイドラインに在宅支援について盛り込んでいく。

02 平常時の学習にも活用可能な複合的効果のあるリモート教育の拡充

Q. 個別最適化された学びのためにも、常時自らの学習にとって最適と考える動画で学習できる環境を整えることが重要と考える。県の考えは。

A. 学習の進捗など、学校によって状況は様々であるので、学校が多様な学習コンテンツの中から、適切なものを採用し、活用していくことが効果的と考える。
県として、学習コンテンツを積極的に用いた好事例を各学校に周知し、児童生徒の確かな学力の育成に役立てるよう努めていく。



03 読解力の向上

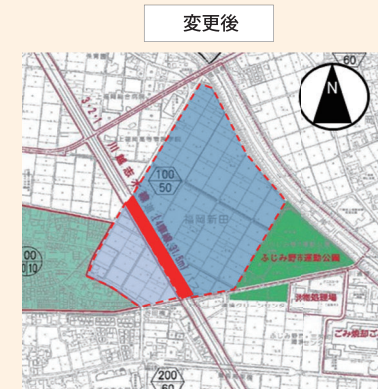
Q. 国際学習到達度調査（PISA）によれば、読解力とは、自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するためにテキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むことをいうとされています。これは、子どもたちに、自ら「生きる力」「確かな学力」を付けるという意味で極めて重要な要素と考えます。

A. 県では、独自の学力・学習状況調査結果のビッグデータを慶応義塾大学 SFC 研究所と連携して分析なども行っている。
様々な取り組みの効果を分析し、継続的な授業改善をすすめ、読解力の向上に努める。

お知らせ
news

富士見都市計画区域区分及び道路の変更について

ふじみ野市 国道254号バイパスふじみ野地区



■市街化調整区域から市街化区域に変更
(約 18.0ha)

区域区分変更箇所

■3・2・1 川越志木線の幅員を一部変更

都市計画道路変更箇所